1969
8月号
No.189
編集兼発行
鮫川村
総務課
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

8月の人口と世帯

人口	6.953(－7)
男	3.500(－2)
女	3.453(－5)
世帯数	1.232(0)

高温持続で稲作持直す
豊作にもうひと息

阿武隈山系高冷地では、昨年稲作が夏期低温秋冷の被害をうけて大減収となり、青米未熟米が多く品質も大変低下しました。

わが村でも政府買上米が一万俵も予想収穫より下廻り、品質不良のため不合格となつた米も相当出ました。

それがコンニヤクの値下りとともに農家経済の上に重大な結果を及ぼしたので、今年はこれらの被害をばん回するため農家では熱心に農作に力を入れております。

しかし今年も春以来天候が不順で晩霜の被害があり、稲作も七月前半までは、低温と雨ふりが続いて、また冷害かと心配させられました。

ところが七月中旬から天候が回復し、急に三〇度前後の日も続いて葉いもち病の発生を抑制しながら稲は伸長期に入り、穂ばらみ、出穂、開花と好い条件で成育を続けています。

前半の低温降雨でおくれていた生育のおくれも次第に回復し、まだ幾分のおくれと、軟弱の傾向はありますが、今後高温が続けば、平年作或はそれ以上の収穫も期待されようとしております。

大切なのは、出穂開花期の天候で、二四度～三〇度位の高温と、豊かな日照と、それに強風のないことを祈りたいものです。

晴れ間があれば或る程度の雨は支障がなく、むしろ稲の生理にとつては旱ばつの方がわるい結果となります。

穂いもち病の予防や、水管理に注意し、豊年の秋を迎えるよう努力しましよう。

たばこの収穫乾燥に、秋蚕の飼育に、忙しい季節です。健康を守りながら、働きましよう。



村人の健康をまもるため、移動保健所が開かれ、多数の受検者が訪れ盛況でした。



県の大森農政部長が、村の稲作と、いもち病防除の作業を視察に来村されました。

交通事故を撲滅しよう!!

今年の交通事故の件数は、八月中にすでに昨年一年間の発生件数に達しようとしており事故は年々増加するばかりです。

交通事故は、歩行者と運転者がお互に注意すればおきないはずです。

先ず運転者は法令を守り常に安全運転を心がけ、無理な運転をしないよう心がけて下さい。

夏はとかく被労しやすい季節です。車を運転するかたは睡眠をよくとり過労運転で事故を起さないようお願いします。

又歩行者は必ず右側通行を守り、道路を横断するときは左右をよく確認して正しい横断をすることが大節です。

子供の一人遊びは危険ですかわい子供を交通事故から守りましよう。

青年議会の議員募集

県では初の試みとして、県内各界の青年の意見を県政に反映させるために、次により青年議会を開催することになりましたので希望者は八月三十一日までに直接県に申し込んで下さい。

1. 募集人員　一般募集三六人
2. 応募資格　県内居住の年令二十才以上三十才未満の男女
3. 応募方法　任意の申込書に住所、氏名、年令職業、性別、出身学校及び希望所属分科会名記入する
4. 添付書類　希望所属分科会の内容に関連した「県政に対する私の提言」（四百字づめ原稿用紙2枚程度）を添付する
5. 分科会　人づくり、県民生活、生活環境、県土開発商工業、農林漁業の各分科会
6. 申込先　福島市杉妻町二ノ十六県庁県民室「青年議会応募」と朱書すること
7. 決定　書類審査により選考
8. 費用　県負担です。

詳しいことは、役場の総務課におたずね下さい。



病虫害防除団のいもち病一斉防除作業

おくやみ

七月

官沢　矢吹　一男54　菊雄　世帯主
岫長　北条サト78才　忠夫
福原　鈴木三林子25才　正二
八月
大竹　芳賀留之亟71　一界

おめでた

七月

青生野　岡部　司代父勝　正
上耕地　赤坂　和枝〃貞雄
岩野草　松崎　夏枝〃健一
大塩　大楽　尚弘〃勝弘
鍬木田　松本　健〃一治

税金はみんなのために

村税が村内のあらゆる行政施策に使われていると同じように国税も、道路を作つたり学校や住宅を建てたり、老人や身体が不自由で働くことができない人の生活を保障したり、いろいろな仕事をしています。

このような仕事に使われるお金のほとんどが税金でまかなわれているわけです。

昭和四十四年度の一般会計歳入予算は約六兆七千億円で、このうち約九〇%が税金で占められていることでもわかります。

このように、私たちの納めた税金は国のいろいろの仕事を通じて私たちのために、住みよい国土を作るために使われているのです。

（白河税務署）

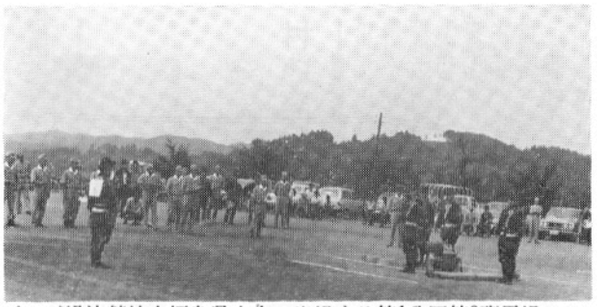
六年ぶり ポンプ操法県大会に出場

万一の災害に備え、消防団員は常に規律ある訓練を要求されております。

卒先して社会の安寧秩序を守るため活躍する消防団は、例年出初式、検閲、幹部大会団員の教養訓練やポンプ操法競技大会等を通じて団員の訓練が高められ志気高揚が図られております。

今年も、去る七月二十九日塙町において郡のポンプ操法競技大会が行われ、鮫川村からは、村予選会で一位になつた、自動車ポンプの部第五分団（東野）、可搬式の部第一分団（中野）第二班の馬場チームが出場し、可搬式の部で馬場チームが優勝し、六年ぶり（可搬式の部では初出場）に八月二十七日郡山市で開催される県大会に出場することになり、各選手の健闘が期待されています。

なお、自動車ポンプの部では準優勝で、惜しくも僅少の差で優勝を逸しました。



ポンプ操法競技会福島県大会に出場する第1分団第2班馬場チーム

もう一度確めよう 火の用心

鮫川史 (11) 戸倉舘と大沢六右ェ門

国島義広

隣接古殿町鎌田に境し西山戸倉の山峯に通称戸倉舘跡あり、何時誰の構築か詳かでないが、旧記によれば前九年の役に備え、今より約九百余年前、後冷泉天皇の永承六年、陸奥出羽の豪族安部頼時の構築で一名笛舘とも云う、東側にある塁（高台）を太鼓舘と呼び、間を流れる小川を組矢川と称す。

天喜四年五月源頼義（八幡太郎義家の父）と、安部頼時（貞任、宗任の父）の古戦場で組矢川の名はこれより出づると。

約四百年前の戦国の世（天正の頃）竹貫三河守の支城として塁に当てられ、関根十郎景勝の居舘とし石高一千石を領す。（別記には水野三郎兵ェ景勝ともあり）

天正十六年豊臣秀吉に下り潰されて廃舘となる。在城二代約三十年、舘主景勝此の地に落ちて帰農、大沢に住み六右ェ門某と云つた。世々この地の名主で、後代六右ェ門は宝暦八年十二月強盗に襲われ散財相次ぐ天明の大飢饉にて破産し欠けて、近郷渡瀬村福原に移り住む（故関根慶治氏言）

強盗の犯人は特に名を秘すが、某舘主の落人なりと誇り一時大富豪となり明治の未頃まで栄いしが、悪銭身につかず今は亡びて其の影なし（故芳賀敏氏言）

西山の大沢に六右ェ門屋敷跡あり、庵寺来光院は明治十年頃廃寺となり、昔日の名残りをとどむ。一族の関根某なるもの此の地に住みて、代々庄屋として其の職にありて明治と改まる。（関根正治氏言）

福原の故芳賀敏氏の祖は、六右ェ門の未胤で蛭田の姓を便乗と自称す。尤も同家には家文書家系図等も明らかに記録されてある。尚、明治五年自由に氏姓を許された時、芳賀と改姓す。

因に渡瀬観音寺十六世、実政より天保の住職（約百五十年前）の僧侶は後代の六右ェ門で僧号を田印と称しおくり名して権大僧都法印田印とし観音寺に僧の碑あり。

後代の六右ェ門某氏である。（蛭田茂信翁の言）嗣子は福原にて農を営み、子孫は現在に至る。（此の稿を草するに当り蛭田茂信翁の協力を感謝致します。）

末完

生命と健康を守る国保

村長 石田卯子八

（28）

国にとつても、地方公共団体にとつても、住民の生命と健康を守る施策は、他の何物よりも重要なものといえましよう

特に福祉国家を目ざす今の社会では、一段とその施策の強化が望まれるわけでありますが、医療保険制度の抜本的改革が遅々として進まないことは、まことに遺憾に思います。

市町村の福祉施策の中核である国民健康保険は、累増する医療費の支払いにおびえながら、被保険者の行政需要を如何にして充たすべきかに悩んでいるのが現状であります。

わが村の国保の療養給付費の増加ぶりは次のようになつております。

四一年度　三二六五万円
四二年度　三九〇〇万円
四三年度　四八七五万円

受診率も一九七％から二六〇％に上り、一件当りの費用額は、二、六一七円から三、〇九七円にふえ、四三年度で一世帯平均四六、八七九円一人当平均八、〇六一円となりました。

これをまかなう保険税額も年々増税を続けなければならず、四〇年度に一世帯当り八、四五四円であつたものが、四三年度は一三、八〇七円となり、被保険者一人当りの税額は二、三七四円となりました。

更に今年度は、一世帯平均保険税が一七、八八七円、一人当り三、一一八円を見込まなければならないようになりました。

この額は福島県平均一世帯当り一九、二四一円、一人当り四、五四二円に較べると、かなり低いことにはなりますが、それにしても容易でない金額であるといわなければなりません。

このような保険税の上昇は医療費の増高、生活水準の向上に伴なう受診率の増加、医療技術の進歩などに対応しなければならないためでありますが、一方保険税の負担の限界というものを考えなければなりませんので、国のいわゆる抜本的対策というものが、強く望まれる所以であります。

わが村としては、保険税の負担を可能な限りおさえる目的をもつて、今年度は一般会計から二〇〇万円を国保会計に繰出し、国県負担金補助金等を十分にうけることを前提としても、尚且つ前年対三〇％程度の増額を余儀なくされたわけであります。

いわゆる抜本的対策としては、医療制度の面、すなわち医療の地域差の是正、自由開業医制度下の公共性の強調、公的医療機関の管理運営の改善などの重要課題に取組まなければならないし、医療費支払制度の面では、医療保険制度の合理的しかも均衡のとれた改善や統合が課題になるものと考えられますが、いずれにしても大巾な国家投資を期待することは当然であると思います。

住民の生命と健康を守る中核的なこの施策が、国家的視野で十分検討され、個人と社会の完全な共同責任で、病気や災難が追放され、生命と健康が十分に守られるような制度の改革を期待するものであります。

選挙人名簿の登録がかわりました

選挙人名簿の登録は、本年七月二十日から選挙管理委員会が、住民基本台帳の記録に基づいて、登録資格を有する方を毎年九月一日と、選挙が行なわれる際に職権で登録することになりました。

これからは、住民基本台帳に記録されていない方は、選挙人名簿に登録されませんのでご注意下さい。

◇登録資格

1. その市町村に住所を有する年令満二十才以上の日本国民。
2. その市町村の住民基本台帳に記録され、三ヶ月以上経過した方。

◇住民基本台帳への届出をしていない方は、選挙人名簿より抹消されますので選挙権がなくなります。

◇住民基本台帳の届出方法

現在住んでいる市町村から他の市町村へ住所を移す際は、転出の届出を行なうとともに転入した市町村に住所を移した日から十四日以内に転入の届出をすれば自動的に住民基本台帳に記録されます。

住民検診のお知らせ

八月二十八日から九月八日までの期間に、一般住民健康診断を行います。

今年は、ツベルクリン反応注射及びレントゲン撮影の外に、特に成人病から守るため四十才以上の者全員の血圧測定及び健康相談を行います。

健康を守り、家庭の幸福を進めるため必ず健康診断を受けて下さい。

◎健康診断の方法

第一日

㈠生後三ヶ月～五才までの乳幼児。
ツベルクリン反応注射

㈡六才～二十九才
ツベルクリン反応注射及びレントゲン撮影。
（小、中、高校生は除く。）

㈢三十才以上
レントゲン撮影

㈣四十才以上の血圧測定及び健康相談

第二日

二十九才以下のもの
ツベルクリン反応測定及びBCG接種

◎その他

日時、場所等の細部については別に（回覧文書で）お知らせします。



議会だより

大型農業で近代化をはかる
八郎潟干拓地を視察

去る六月十七日より二十日まで四日間にわたり本村の議会議員の一行はわが国の農業の未来像を試験的に実施している秋田県八郎潟干拓地を視察してきました。

日本第二の湖を干拓しただけあつて広大な田（一区画二*ha*）を目前にした一行は、こういう所もあるのかと、わが村に比較して警ろきを深くしました。

五百億円ちかい国費を投じて行なつている事業で、八郎潟村役場で県から派遣されている嶋貫村長の説明を二時間近くにわたつて聞いたが、実際には計画どおりにはゆかないようで、本年は直播方式が失敗し、隣接の各県から苗の提供を受けて田植をしたとのことです。

協業方式を基礎にして計画したそうですが、実際には個人経営になつてしまつたとのことで大型協業化の目標は進んでいないようです。説明を受けてから担当職員の案内で村内を視察したが、国が多額の経費をかけてモデル農村にしようとしているだけあつて、道路は整備されているし、住宅も農家とは思えないモダンな家が並んでいました。

広大な田園には田植をしている風景が、ところどころにみられ、干拓事業のむずかしさを感じさせられましたが、オランダより専門家を招いて行なわれた、この事業が何時の日にか成功し、日本農業に新しい転機をもたらすであろうと感じました。

グループ紹介 (3)
西山盆栽愛好会

盆栽は日本独特の園芸であつて、日本趣味豊かな家庭園芸であり、支那（中国）大陸より日本に伝えられたのは鎌倉時代でその頃は植木と云われていて、その後明治二十年頃「盆栽は生きた植物の美術品」だと云われる様になつたと聞いている。

高価な物ばかりが盆栽ではない。路傍に野生している雑草や雑木でも採つて来て仕立てると芸術味ゆたかな盆栽となり、実生、挿木や取木によつて盆栽が仕立てられる。又このようにして仕立てられた盆栽は愛着が特に深いような気がするものです。又一方においては家庭の情操を豊かにし「明るい家庭つくり」にも役立ち、訪れる人々の心と目に楽しみを与えることが出来る。以上のようなことから我々盆栽を愛好する者二、三人が集まつて発起人となり、現在の西山盆栽愛好会なるものを作ることになりました。

去る五月三日に会員三十名の会が結成され、規約並に役員が決まり西山盆栽愛好会が発足しました。

第一回の事業として七月一日に西山公民館において展示会を開催しました。展示品は自分で仕立てた木、花、観葉植物等七十鉢余、当日は農休日で、西山家庭教育学級の開講式があり、大勢の参加された方々にも楽しんでいただくことが出来ました。

今後の事業としては、時期により展示会、手入法、苗木鹿沼土、鉢等の共同購入を行い、この会を木ぶり、枝ぶりの良い大きな会に育てゝ行きたいと思います。村内愛好家の入会を望みます。



西山盆栽愛好会の皆さんが丹精をこめた見事な盆栽

西山盆栽愛好会規約

（名称）

第一条、本会は西山盆栽愛好会と称し、事務所を会長宅に置く。

（目的）

第二条　本会は盆栽道の技術と盆栽愛好を通じ、相互の親和を図ることを目的とする。

（会員）

第三条　本会員は本会規約に賛同する愛好者を以て構成し、入退会は自由とする。

（事業）

第四条　本会目的達成のため次の事業を行う。

1. 盆栽芸術の研究と、相互技術の交換。
2. 盆栽展示会の開催、種苗の交換並に協同購入。
3. その他

（運営）

第五条、本会運営のため総会、役員会を開き民主的運営を図る。

1. 総会年は一回三月に開催する。
2. 役員会は適時必要に応じ開催する。

（役員）

第六条、本会の役員は次の通りとし総会において選任し任期は二ケ年とし、再任をさまたげない。会長一名、副会長一名、委員若干名、会計一名

（会費）

第七条、本会の会費は年額三〇〇円とする。

（顧問）

第八条、本会に顧問を置くことが出来る。顧問は総会において推薦する。以上

役員

会長　市川　正
副会長　水野　真
委員　大竹　茂
〃　本郷　正
〃　松本定雄
〃　阿久津一兄
〃　松崎　安
会計　山本正夫
顧問　関根昭二

県初級職員候補者採用試験のお知らせ

受験希望者は八月三十日までに、福島県人事委員会に申込んで下さい。

1. 試験区分及び職務の内容
一般事務と技術関係とありどちらも最初は補助的業務です。
2. 受験資格
四月二日から、昭和二一年四月一日までに生まれた者で学歴は問いません。
3. 試験の方法及び内容
一般事務は社会、理科、国語、数学、英語等の教養試験で記述式
技術関係は、農業土木、林業、土木、建築、等で専門試験です。
どちらも高等学校卒業程度。
4. 試験の期日及び場所
第一次試験　昭和四十四年九月二十八日　福島市、郡山市、会津若松市、いわき市、相馬市。
第二次試験　昭和四十四年十一月中旬、福島市
5. 受験の手続
申込用紙は福島県人事委員会事務局で交付しますから返信用封筒に十五円切手をはつてあて先を明記した封筒を必ず同封して請求して下さい。
なおくわしく知りたい方は総務課に問合せ下さい。

「心身障害者綜合福祉センター」の入所生を募集

心身障害者に適切な指導により特殊な技能を修得させ、本人の幸せを守るために福島県心身障害者綜合福祉センター（福島市上浜町）では次により第六期入所生を募集しています。

一、入所資格
身体障害者手帳を有する肢体不自由者で日常生活において他人の介護を必要としない者で義務教育修了者若しくはこれと同等以上の学力を有すると認められる者であること

二、募集人員　二十五名

三、募集科目
㈠タイプ印刷科
（謄写印刷、グランド印刷、孔版タイプ、製本）
㈡、手工科
（装具、製甲、製靴及び修理、手芸、木工、彫刻焼物）
㈢、洋服洋裁科
（洋服洋裁、編物）
㈣、時計科
（各種時計修理及び分解写真技術）

四、願書締切日
昭和四十四年八月三十日

五、選考日
昭和四十四年九月四日

六、入所期日
昭和四十四年十月一日

尚、入所申請手続、その他については産業福祉課に問い合せ下さい。



1基8万俵の籾を収容して玄米に変えてゆく、八郎潟のカントリーエレベーターを視察する議員団

山火事と歩行禁煙

東北七県木炭ブロック会議で山火事予防のため「歩行禁煙運動」について決議されました。この趣旨にご協力下さい。

（歩行禁煙運動推進の趣旨）

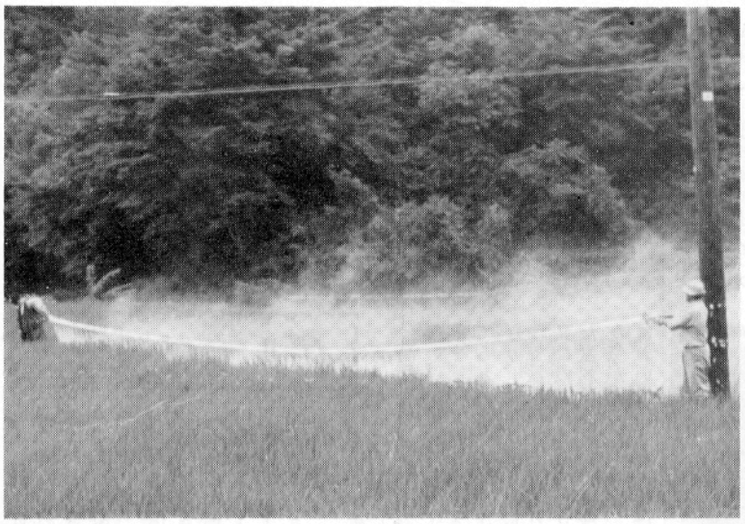
毎年山火事の発生件数は全国で約二、六〇〇件、その損害額は十五億円の多額になります。山火事は貴重な森林資源を焼失するばかりでなく、地利的に条件の悪い山地であるため、ひとたび山火事が発生した場合、消火活動がはばまれ、しばしば家屋や人命にまで危険がおよぶなどまことに重大事であります。

穂いもち病の防除を完全に

今年の葉いもち病の発生はいまのところさほどではありませんが、不順天候のため穂いもち病の多発が予想されますので、防除を完全に行なつて下さい。

いもち病は、稲の恐しい伝染病ですから、個人で薬剤撒布をしても、その効果は薄く共同で全地域を一斉に防除することが肝要です。大型防除機を使用し、安い水和剤により効率を上げて下さい。

尚薬剤撒布の際は養蚕に被害のないよう注意して下さい。



畦畔ダスターでいもち病の防除作業

昭和四十三年度 建設事業実績

村の建設関係事業は、毎年計画的に実施され順調に進んでいます。昭和四十三年度の事業も皆さんのご協力により予定どおり全部完了しました。昭和四十四年度の各種建設事業についてもよろしくご協力のほどお願いします。

村の発展はまづ税の完納から

鮫川村

昭和43年度 建設事業実績一覧表

事業名	ヶ所	事業内容	事業費 千円	施行者
失業対策事業	村内一円	就労適格者14人 就労人員3,924 5人 採石砂利敷作業3,023㎥	6,530	直営
へき地農山漁村振興特別対策事業	菅田地内	農道整備延長470m 幅員3.6m ブロツク積22㎡	1,500	藤田米治
治山事業	西野小地内	土台コンクリート31㎥ 柵工101m 水路工25m 暗渠工33m	790	佐藤求馬
〃	西山小地内	土台コンクリート45㎥ 積苗工370m	780	藤田芳之助
〃	茅地内	石積111㎡	785	佐藤求馬
〃	中沢地内	石積42㎡ 柵工38m 水路工20m	528	山本守夫
公共治山事業	遠ケ竜地内	石積161㎡ 柵工118m 水路工64m 暗渠工77m	2,820	藤田米治
林道整備事業	塩倉線	延長110m 巾員4m ブロツク積99㎡	1,000	佐藤求馬
〃	落合線	延長121m 巾員3.6m以上 ブロツク積13㎡	500	江口忠六
〃	岩の草下線	延長140m 巾員3.6m ブロツク積52㎡	800	藤田米治
〃	大石草線	延長200m 巾員3.6m ブロツク積14㎡	1,000	藤田芳之助
〃	中沢線	延長200m 巾員4.0m ブロツク積11㎡	1,000	深谷定雄
〃	江竜田線	延長160m 巾員3.6m ブロツク積16㎡	800	菊池常吉
林構林道開設事業	殿山線	延長900m 巾員3.6m ブロツク積105㎡ 暗渠工10ヶ所	5,610	藤田芳之助
〃	木之根線	延長960m 巾員4m ブロツク積178㎡ 橋梁工1ヶ所 暗渠工14ヶ所	7,748	山本守夫
辺地対策道路改良事業 村道竹貫浅川線	追木～余所内	延長2,500m 巾員4 6m ブロツク積20㎡ 暗渠工48ヶ所 岩石4 564㎥	8,970	深谷定一
村道改良工事 水口鎌田線	吉合地内	延長220m 幅員3.6m	100	藤田米治
村道橋梁架換工事 赤坂石川線	大録田橋	PC桁コンクリート橋幅員5m 延長8.44m	2,700	藤田米治
農地等災害復旧工事	広畑地内	水路工延長21m 石積16㎡	231	山本守夫
公共土木施設災害復旧工事 村道棚倉石川線	名下地内	土台工延長18m ブロツク積27㎡	208	前田初
〃 村道赤坂勿来線	滝の下地内	土台工延長12m ブロツク積42㎡	370	山本守夫
〃 村道富田浅川線	彦次郎地内	法台工延長18m ブロツク積41㎡	304	藤田芳之助
県単県道改良工事 黒田浅川線	浅屋敷地内	延長53m 幅員6m	1,200	佐藤求馬
〃 〃	道少田地内	延長80m 幅員6m	1,800	藤田芳之助
〃 〃	広畑地内	延長145m 幅員6m	2,700	田村栄
〃 鎌田棚倉線	切払地内	延長100m 幅員6m	2,400	佐藤求馬
〃 鎌田棚倉線	馬場地内	延長75m 幅員6m	900	水谷藤之助
〃 勿来棚倉線	上耕地地内	延長79m 幅員6m	1,200	深谷定雄
〃 〃	越虫地内	延長920m 幅員5～6m	5,100	深谷定雄
〃 〃	青生野地内	延長446m 巾員6m	5,880	山本守夫
県単県道舗装新設工事 黒田浅川線	道少田地内	延長160m 巾員6m	4,870	藤田芳之助
〃 〃	広畑地内	延長194m 巾員6m	3,990	〃
公共県道改良工事 勿来棚倉線	関下地内	延長70m 巾員6m	3,000	江口忠六
〃 〃	青生野地内	延長390m 巾員6m	5,500	山本守夫
砂防ダム	渡瀬川	延長57m 高さ3.3m コンクリート530㎥	7,268	深谷定雄
県単凍雪害防止工事 黒田浅川線	本坂地内	延長313m 巾員5m	1,986	佐藤求馬
〃 勿来棚倉線	中の町地内	延長170m 巾員5.5m	925	深谷定雄
県単交通安全施設工事 黒田浅川線	新宿地内	ガードレール設置190m	755	藤田芳之助